



2022年3月24日

各 位

会 社 名 株式会社帝国ホテル  
代表者名 代表取締役社長 定保 英弥  
(コード番号 9708 東証第2部)  
問合せ先 経理部長 杉山 和久  
(TEL. 03-3504-1111)

## 業績予想及び配当予想に関するお知らせ

2021年5月12日公表の「2021年3月期決算短信〔日本基準〕(連結)」において未定としておりましたが2022年3月期通期の連結業績予想及び配当予想を下記のとおりお知らせいたします。

### 記

#### 1. 業績予想について

##### (1) 2022年3月期通期 連結業績予想(2021年4月1日～2022年3月31日)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	—	—	—	—	—
今回修正予想 (B)	28,500	▲11,200	▲7,900	▲7,950	▲134.01
増減額 (B - A)	—	—	—	—	—
増減率 ( % )	—	—	—	—	—
前期実績 (2021年3月期)	22,051	▲11,710	▲7,901	▲14,363	▲242.13

##### (2) 修正の理由

2022年3月期連結業績予想につきましては、経済、企業活動に広範かつ重大な影響を与えている新型コロナウイルスの世界的な感染拡大に収束が見えず、また、国際情勢も混迷を深めており、需要の見通しが極めて不透明で合理的な算定が困難であったことから未定としておりましたが、現時点で入手可能な情報に基づいた2022年3月期通期の連結業績予想値を算定しましたので公表いたします。

## 2. 配当予想について

### (1) 配当予想

基準日	1株当たり配当金		
	第2四半期末	期末	年間
前回予想	—	—	—
今回修正予想	—	4円	4円
当期実績	0円	—	—
前期実績 (2021年3月期)	0円	4円	4円

### (2) 修正の理由

今期の当期純利益の損失幅は前期に比べて縮小いたしました。一昨年から続く新型コロナウイルスの世界的な感染拡大の影響を受け、本格的な業績の回復には至りませんでした。

このような経営環境下ではありますが、昨年開始したサービスアパートメント事業や当社初の直営日本料理店「帝国ホテル 寅黒」の開店、ホテルショップ「ガルガンチュワ」の拡充など新たな事業や施策を積極的に展開してまいりました。

来期におきましては、新型コロナウイルスの感染再拡大や不安定な国際情勢の動向など先行きの不透明感がありますが、国内の経済活動も徐々に回復基調に向かい収益の伸長が図れると期待しております。

つきましては、株主の皆様の日頃のご支援に感謝し、2022年3月期の期末配当金を1株につき4円として配当を継続してまいります。

昨年は、帝国ホテル東京の建て替え計画、京都での新規ホテル計画を発表いたしました。第2の創業ともいえるこのプロジェクトを新たな成長と企業価値向上の機会と捉え、全社一丸となって邁進してまいりますので、株主の皆様には引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

尚、期末配当金につきましては、2022年6月下旬開催予定の第181期定時株主総会に付議する予定であります。

※ 上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき算出したものでありますが、今後当社グループの業績に大きな影響を及ぼす事象があった場合、実際の業績は予想数値と異なる可能性があります。

以上